

2017年度

事業報告書

2017年4月1日から2018年3月31日まで



2018年3月31日 茶室「成景庵」の扁額除幕式

学校法人 平安女学院

Heian Jogakuin (St.Agnes') School

目 次

I	「建学の精神」について	1
II	理事長・学院長・大学学長からのメッセージ	1
III	法人の概要	
	1. 設置する学校・学部・学科等	2
	2. キャンパス	2
	3. 理事・監事・評議員	2
	4. 学院長、学校長、大学副学長・学部長	3
	5. 入学定員、学生数等の状況	3
	6. 教職員の人数	5
	7. 学院の沿革	6
IV	事業の概要	
	1. 法人	7
	2. 大学・短期大学部	8
	3. 中学校・高等学校	12
	4. 大学附属幼稚園	18
V	財務の概要	
	1. 2017年度の決算概要	17
	2. 2017年度の決算内容	17
	3. 財務状況の推移	22
	4. 学校法人会計の概要と用語説明	23

I 「建学の精神」について

知性を広げ 望みを高くし 感受性を豊かにし そして神を知らせる

この言葉は、大阪の川口居留地で米国聖公会宣教師として活躍していたクインビー司祭が、1875（明治 8）年 3 月 20 日付で本国へ書き送った手紙の中にあります。米国聖公会ミッションの中心人物であったウィリアムズ主教による女学校設立の方針に沿って、その準備にとりかかっていた時に述べられたものです。

この建学の精神は、本学院の教育の根底に流れています。キリスト教精神に基づいた教育理念であり、今日に至るまで受け継がれています。

II 理事長・学院長・大学学長からのメッセージ

「学校法人平安女学院 2017 年度事業報告書」がまとまりましたので、ご報告申し上げます。

2016 年度の中学校・高等学校校舎耐震補強工事に引き続き、2018 年度には室町館の耐震補強工事を行うこととなりました。耐震補強工事と合わせて、老朽化している箇所の改修工事等も行う予定です。

2018 年 3 月には、私自身が、ミス・エディの出身校である、アメリカ・インディアナ州の「セント・メアリーズ・カレッジ」を訪問し、学長と懇談しながら、平安女学院の建学の精神を確認すると同時に、学生、教職員の交流や学術、教育に関する情報交換など、今後の連携を強化する方向で合意しました。

また、茶道裏千家様のご厚意によりまして、有栖館長屋門に本格的な茶室「成景庵」が 2018 年 3 月に竣工しました。多くのご来賓ご参集のもと、千玄室茶道裏千家大宗匠・平安女学院名誉学院長の揮毫によります扁額の除幕式・茶室披きを盛大に執り行いました。

お蔭様で、中学校・高等学校、大学ともに、生徒数・学生数は年々増えております。京都キャンパスでは地元京都から、高槻キャンパスでは北摂地域からの志願者数が増加しており、また北海道から沖縄に至るまで、遠方からの入学者も増えております。平安女学院の評判が全国的に上がっている事実を喜び、神に感謝しております。

平安女学院は、長い歴史と伝統に育まれたキリスト教精神に基づいた教育理念を受け継ぎながら、教職員が一体となって、生徒一人ひとりに目を配り、きめ細やかに対応し、優れた女性の育成に努めて参ります。

学校法人平安女学院 理事長・学院長
平安女学院 大学 学長
山岡 景一郎

「平安女学院のミッション宣言」

平安女学院は、21 世紀に生きる夢のある学院として、輝くビジョンを旗印として掲げ、教職員は魅力ある人間となるため、常に研鑽に務め、危機感を持ち、勇気と創造力により改革を推進します。

全学院が一致協力のもと、中高大一貫教育を進めるための、教育課程を根本から見直すと共に、夢のある学科コースの創造に務めます。

労使協調のもと、健全な財政に基づき、教学の強化発展を図り、建学の精神であるキリスト教の教えに立ち、心身ともに自立し、日々変革する社会に適応しながら、感受性豊かで、知性と愛のある女性を育成します。

Ⅲ 法人の概要

1. 設置する学校・学部・学科等

(2017年4月1日現在)

(1) 平安女学院大学

国際観光学部 国際観光学科 (京都キャンパス)

子ども教育学部 子ども教育学科 (高槻キャンパス)

(2) 平安女学院大学短期大学部 (高槻キャンパス)

保育科

(3) 平安女学院高等学校 (全日制課程 普通科) (京都キャンパス)

(4) 平安女学院中学校 (京都キャンパス)

(5) 平安女学院大学附属幼稚園 (高槻キャンパス)

2. キャンパス所在地

(2017 年 4 月 1 日現在)

京都キャンパス	京都府京都市上京区下立売通烏丸西入五丁目町1 7 2 番地の2
高槻キャンパス	大阪府高槻市南平台五丁目8 1 番1 号

3. 理事・監事・評議員

(2017 年 4 月 1 日現在)

〔理 事〕 (5 人)

理 事 長	山岡 景一郎	学院長、大学学長
理 事	浦地 洪一	元 中学校高等学校校長
理 事	関根 秀爾	裏千家事務総長
理 事	磯野 眞紀子	短期大学部副学部長
理 事	山岡 祥子	国際観光学部教授

〔監 事〕 (2 人)

監 事	瀧 紘一	元京都府亀岡地方振興局長
監 事	下元 光明	司法書士

〔評 議 員〕 (11 人)

山岡 景一郎	理事長	毛利 憲一	国際観光学部長
浦地 洪一	理事	黒井 いく	国際観光学部教授
関根 秀爾	理事	今井 千和世	中学校高等学校校長
磯野 眞紀子	理事	森 天宏	学校法人職員
山岡 祥子	理事	戸田 貴子	大学後援会顧問
谷口 吉弘	副学長		

4. 学院長、学校長、大学副学長・学部長

(2017 年 4 月 1 日現在)

〔学院長〕

名誉学院長 千 玄室 学院長 山岡 景一郎

〔平安女学院大学・短期大学部〕

学 長 山岡 景一郎
副学長 谷口 吉弘
国際観光学部長 毛利 憲一
子ども教育学部長（兼任）谷口 吉弘
短期大学部長 （兼任）谷口 吉弘

〔平安女学院中学校高等学校〕

校 長 今井 千和世

〔平安女学院大学附属幼稚園〕

園 長 井上 容子

5. 入学定員、学生数等の状況

(2017年5月1日現在)

(1) 平安女学院大学

(単位：人)

学 部	学 科	入学 定員	収容 定員 ※1	在学生数				
				1 年	2 年	3 年	4 年	計
国際観光学部	国際観光学科	90	380	82	53	70	79	284
子ども教育学部	子ども教育学科	90	370	62	45	55	55	217
総 計		180	750	144	98	125	134	501

※1 国際観光学部の編入学定員 20 人、子ども教育学部の編入学定員 10 人を含む。

(2) 平安女学院大学短期大学部 保育科

(単位：人)

入学 定員	収容 定員	在学生数		
		1 年	2 年	計
100	200	70	56	126

(3) 平安女学院高等学校

(単位：人)

入学 定員	収容 定員	在学生数			
		1 年	2 年	3 年	計
320	960	135	152	132	419

(4) 平安女学院中学校

(単位：人)

入学 定員	収容 定員	在学生数			
		1 年	2 年	3 年	計
160	480	52	56	30	138

(5) 平安女学院大学附属幼稚園

(単位：人)

3歳児 定員	収容 定員	在園児数			
		3歳児	4歳児	5歳児	計
25	95	33	33	26	92

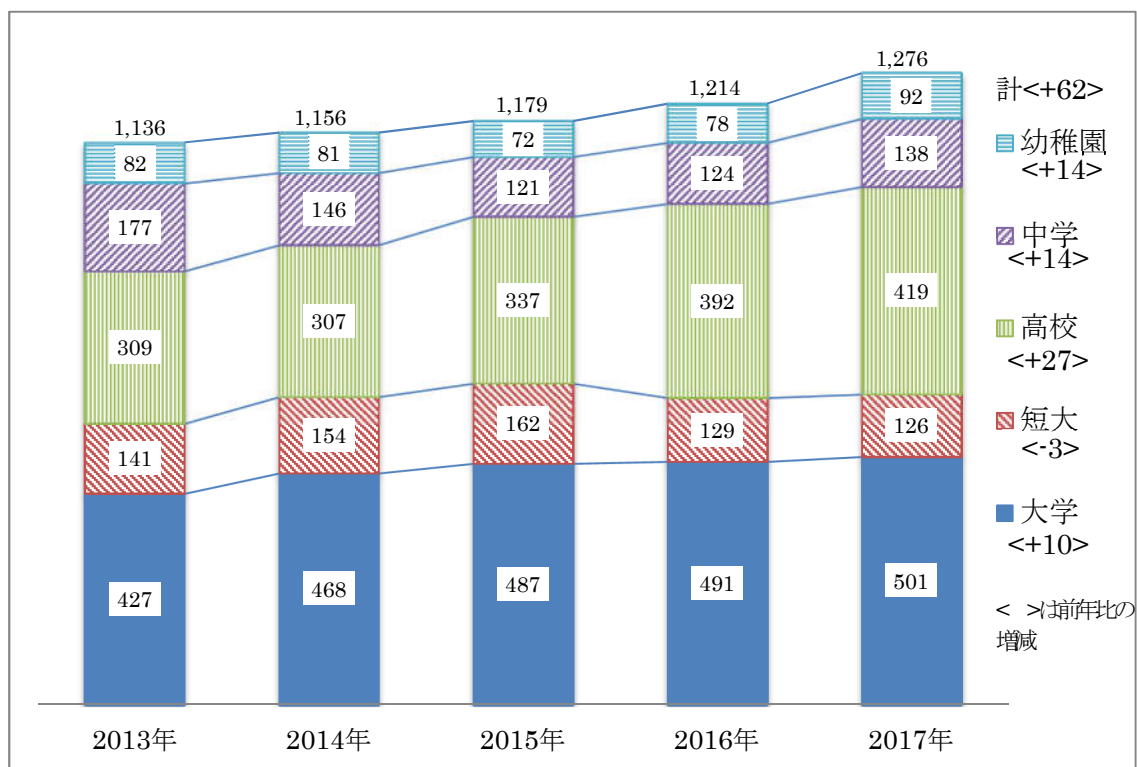
(6) 平安女学院 学生・生徒・園児総数・新入生総数

(単位：人)

		学生・生徒・園児数 () 内は「新入生数」			参考
		2016年5月1日 現在	2017年5月1日 現在	年間増減	2018年5月1日 現在
大 学	国際観光学部	255 (58)	284 (82)	+29 (+24)	315 (98)
	子ども教育学部	236 (47)	217 (62)	-19 (+15)	223 (63)
	小 計	491 (105)	501 (144)	+10 (+39)	538 (161)
短 期 大 学 部		129 (57)	126 (70)	-3 (+13)	135 (68)
平安女学院高等学校		392 (156)	419 (130)	+27 (-26)	428 (143)
平安女学院中学校		124 (55)	138 (52)	+14 (-3)	149 (42)
大 学 附 属 幼 稚 園		78 (36)	92 (37)	+14 (+1)	104 (38)
在学生総数		1,214 (409)	1,276 (433)	+62 (+24)	1,354 (452)

(7) 平安女学院 学生・生徒・園児総数の推移

(単位：人)



6. 教職員の人数

(2017 年 5 月 1 日現在)

(1) 教 員

平安女学院大学・短期大学部 () 内は、特任教員内数

(単位：人)

区 分	専任(特任)					非常勤講師	合 計
	教授	准教授	講師	助教	計		
国際観光学部	11(7)	6(0)	1(1)	1(1)	19(9)	13	32
子ども教育学部	8(5)	5(0)	4(2)	2(1)	19(8)	18	37
大学計	19(12)	11(0)	5(3)	3(2)	38(17)	31	69
短期大学部	4(1)	3(0)	0(0)	6(3)	13(4)	6	19

平安女学院高等学校

(単位：人)

区 分	専 任						非常勤講師	合 計
	学校長	副校長	教諭	助教諭	常勤講師	計		
全 校	1	2	31	1	9	44	28	72

平安女学院中学校

(単位：人)

区 分	専 任						非常勤講師	合 計
	学校長	副校長	教諭	助教諭	常勤講師	計		
全 校	0	0	7	1	3	11	3	14

※学校長・副校長は中学校・高等学校兼務

平安女学院大学附属幼稚園

(単位：人)

区 分	専 任				兼 務	合 計
	園長	教諭	嘱託	計		
全 園	1	4	2	7	0	7

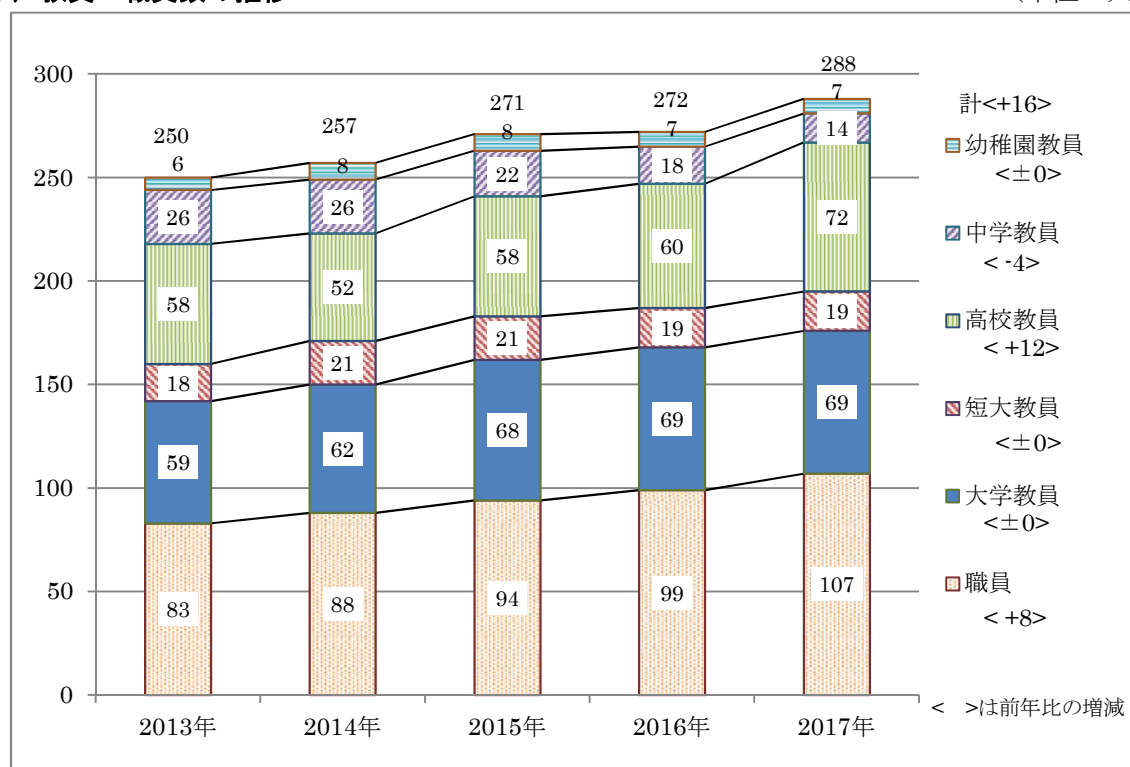
(2) 職 員

(単位：人)

区 分	法人本部	大学短大	中学高校	幼稚園	合 計
専任職員	10	17	8	0	35
嘱 託	8	18	7	0	33
契約職員	0	0	1	0	1
パートタイマー	2	21	3	12	38
計	20	56	19	12	107

(3) 教員・職員数の推移

(単位：人)



7. 学院の沿革

- 1875年 9月 米国聖公会宣教師ミス・エレン・G・エディが、大阪の川口にあつた居留地内に「エディの学校」を設立、生徒3名
- 1880年 4月 学校名を聖書の言葉から「照暗女学校」(英語名St.Agne's School)と改称
- 1892年 7月 米国聖公会は、京都での宣教を決議し、照暗女学校についても京都移転を決定フィラデルフィア市聖三一教会からの寄付3,000ドルにより、学校と教会の用地1,672坪(5,520㎡)を取得(教会と現 中高敷地の68%)
- 1894年11月 学校名を「平安女学院」と改め、翌年4月の京都での開校を決定
- 1895年 6月 新校舎(現「明治館」)が落成
- 〃 9月 始業式。9月に新入生12名が加わり、生徒20名
- 1915年 4月 「聖三一幼稚園」を開設
- 1947年 4月 新たな六三制教育制度のスタートに合わせ、「平安女学院中学校」を設置
- 1948年 4月 「平安女学院高等学校」を設置
- 1950年 4月 「平安女学院短期大学」を開学
- 1966年 4月 聖三一幼稚園を「平安女学院幼稚園」に改称
- 1987年 4月 短期大学、幼稚園を大阪府高槻市南平台に新設した高槻キャンパスに移転
- 2000年 4月 創立125周年を機に「平安女学院大学」を滋賀県守山市にて開学
- 2002年 4月 短期大学を「平安女学院大学短期大学部」に改称
- 2005年 4月 高槻キャンパスにびわ湖守山キャンパスを統合
- 2007年 4月 研究環境を考慮し、「国際観光学部」を京都キャンパスに開設
- 〃 幼稚園を大学の附属とし、「平安女学院大学附属幼稚園」に改称
- 2008年 8月 旧京都地方裁判所所長官舎(2,148㎡)を大学施設として取得(現「有栖館」)
- 2009年 4月 大学「生活福祉学部」の募集を停止し、新たに「子ども学部」を開設
- 2014年 4月 高等学校に「幼児教育進学コース」開設
- 2015年 4月 大学「子ども学部」を「子ども教育学部」に名称変更

Ⅳ 事業の概要

1. 法人

(1) 寄附金募集事業

《2017年度 寄附金(募金)額と前年比》

(単位：件、万円)

寄附内訳	件数	金額	前年比
教育強化募金	48	381	-16
学院振興寄付	2	19	+10
文化財保存整備事業	4	61	-522
奨学金事業	177	55	+3
使途指定寄付	8	551	-251
合 計	239	1,067	-776

現 物 寄 附	4	3,782	+3,227
---------	---	-------	--------

(2) 学債の発行

ア. 学債の発行・残高状況

(単位：件、万円)

	件数	金額
2017年3月末学債残高	281	82,090
2017年度の学債発行	128	38,980
2017年度の学債償還	113	33,160
期末学債残高(2018年3月末)	296	87,910

エ. 期末残高・件数(単位：件、万円)

	件数	金額
2013年度末	2	1,520
2014年度末	189	58,030
2015年度末	198	60,390
2016年度末	281	82,090
2017年度末	296	87,910

イ. 期末(2018年3月末)における学債申込者内訳

(単位：件、万円)

	件数	残高金額
理事・評議員・教職員等	26	5,470
大学在校生・保護者・保護者親戚	107	27,680
卒業生・校友会等	163	54,760
合計	296	87,910

ウ. 募集金利

(単位：%)

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
3年物	1.10	1.10	0.50	0.80	0.60	0.40
6年物	1.30	1.30	0.60	1.20	1.00	0.60

(3) 校友会活動

2017年11月25日、2017年春に完成した京都キャンパス「エディ・カフェ」を会場としてホームカミングデーを開催し、綺麗になった学生食堂を卒業生の皆さまにお披露目することができました。当日は、卒業生44名をはじめ87名の方にご参加をいただきました。

校友会および京都支部会総会では、予算・決算のご承認をいただき、懇親会では、短期大学部保育科の端山梨奈先生の歌と桐岡亜由美先生のピアノによるクリスマスコンサートが大好評を博し、参加された皆さまに喜んでいただくことができました。

2. 大学・短期大学部

(1) 主な教育活動

ア. 大学の現況

大学および短期大学部は、7年振りの第三者評価を2017年度に受審しました。短期大学部は10月3日及び4日に一般財団法人短期大学基準協会による学内視察を含む面接調査を、大学は公益財団法人日本高等教育評価機構による学内視察を含む面接調査を高槻（10月25日）及び京都（10月26日～27日）の両キャンパスで受審しました。

その結果、大学は2018年3月6日付で日本高等教育評価機構から、大学評価基準に適合していると認定を受けました。短期大学部は、2018年3月12日付で短期大学基準協会より、短期大学評価基準を満たしていると認定を受けました。

イ. 国際観光学部

国際観光学部では教室での学びだけでなく伝統文化やフィールドワーク、実習など実践を通じて学ぶことを大切にしています。京都市交通局との連携による情報誌「きゅんきゅん KYOTO」の制作、京都市中央市場第一市場との連携による「食彩祭」「市場祭」への参加、ハイウェイテラス京丹波整備事業、修学旅行ガイド等の事業を継続中です。2017年度は、大和茶振興に係る地域連携協定活動が始まり、学生がパッケージをデザインしたお茶が販売され好評を博しました。

「語学留学プログラム」による1年間の語学留学は、2017年度に出発した10人の学生が、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）、バンクバーアイランド大学（カナダ）、アデレード大学（オーストラリア）、文藻外語大学（台湾）等で学んでいます。

また、高槻市観光協会が2018年に設立50周年を迎えるにあたり創設した「たかつき観光大使」に、国際観光学部と子ども教育学部の学生各1名が任命され、10月7日にJR大阪駅で開催された「まるごと高槻」等の行事に参加しています。

ウ. 子ども教育学部

2017年度卒業生は、大阪府・京都府等の小学校教諭として合計11人が採用され、公立保育職（幼稚園・こども園含む）では滋賀県・大阪府において7名が採用されています。

2020年度から本格的に始まる小学校での英語教育に対応するため、小学校教諭としての英語教育力を養成する英語科目を充実させ、合わせて中学校教諭一種免許（英語）が取得できるカリキュラムを2018年3月20日に設置申請しました。2018年11月に審査結果が通知される予定です。

海外キッズイングリッシュ研修を、8月12日～28日の17日間、ニュージーランドのハミルトン市にある国立ワイカト大学パスウェイカレッジにて行い、英語研修のほか現地小学校でのインターンシップ研修に取り組みました。

エ. 保育科

2017年度卒業生における幼稚園教諭の免許取得率は96.4%、保育士の資格取得率は98.2%で、全員がいずれかの免許・資格を取得しました。就職した学生のうち98.0%が幼保専門職に就いています。

保育科では音楽教育に力を入れており、入学希望者に対してもオープンキャンパスの段階からピアノ個人レッスンを実施しています。在学生に対しては、後援会の協力を得て春休みピアノ・打楽器の指導講座の他、幼稚園・保育所の運動会競技種目として人気のあるパラバルーン指導講座も開催しました。参加学生数はピアノ50人、打楽器30人、パラバルーン24人でした。

特定非営利法人リトミック研究センターと連携し、2年間リトミックの教科「音楽リズム」等の履修により、「幼稚園・保育園のためのリトミック」2級指導資格を17人が、1級指導資格を34人が取得しました。

(2) 域連携・「どんぐりの森」、国際交流

ア. 高槻市地域子育て支援拠点事業ひろば型施設「どんぐりの森」

2007 年 11 月に開所して以来、乳幼児（0 歳～3 歳）と、その保護者や地域の方々が集い、子育て情報を交換しています。大学キャンパス内を小さな子どもを連れて歩き、食堂を利用している風景は、すっかり日常のものとなりました。

《2017 年度の実施状況》

月	開館日数	利用者(子供)	月	開館日数	利用者(子供)
4	20	168 人	10	21	258 人
5	20	158 人	11	20	209 人
6	22	200 人	12	19	176 人
7	20	220 人	1	19	171 人
8	22	177 人	2	19	147 人
9	20	263 人	3	21	156 人

イ. 国際交流

山岡理事長・学長と黒井文化創造センター副センター長（国際言語文化担当）が 2018 年 3 月 18 日(日)～26 日(月)のアメリカ・カナダ出張の際、創立者ミス・エレン・G・エディの母校であり姉妹校提携をしているアメリカ・インディア州サウス・ベント市のセント・メアリーズ・カレッジを訪ね、交流を深めました。

(3) 就職支援・卒業後の状況（就職・進学）

国際観光学部と子ども学部（現子ども教育学部）は 2012 年度から、短期大学部保育科は 2006 年度から連続して就職内定率は 100%を達成しました（分母は就職希望学生数）。

個人面談等で学生の希望進路や適性を熟知した教員・職員が進路選定・エントリーシートや履歴書作成をサポートし、いつでも何度でも相談できる支援環境を整えています。また、後援会の支援を得て、「SPI 対策講座」「資格試験対策講座」「メイクアップ講座」「アグネス教師塾」など女子大や学部学科の特性に合わせた支援も展開しています。

就職者の内、子ども教育学部 91.8%、保育科 98.0%が資格・免許を生かした専門職に就いています。大阪府・京都府等の小学校教諭として合計 11 人（内、正規採用 5 人）が採用され、公立保育職（幼稚園・こども園含む）では滋賀県・大阪府において子ども学部（現子ども教育学部）7 人（内、正規採用 6 人）、保育科 3 人（内、正規採用 2 人）が採用されました。

(4) 文化創造センター

ア. キリスト教文化

平安女学院礼拝堂（京都キャンパス）にて月一回行われる礼拝は、3 年目を迎えて定着してきました。高槻キャンパスでは、花の日礼拝やチャペルトークに多くの参加者がありました。また、キリスト教の授業の一環として全学部の 1 年生が、学院発祥の地である大阪・川口基督教会を訪問しました。

(ア) 2017 年度の年間特別礼拝と行事

a. 大学及び短期大学部

4 月 6 日	入学感謝・始業礼拝（高槻）	11 月 3 日	大学祭開会礼拝
4 月 7 日	入学感謝・始業礼拝（京都）	12 月 6 日	クリスマス・カンタータ発会式
9 月 14 日	花の日礼拝	12 月 17 日	クリスマス・カンタータ
7 月 21 日	語学留学出発礼拝	12 月 22 日	教職員クリスマス礼拝
8 月 3 日	ワイカト留学出発礼拝	1 月 9 日	新年賀詞交歓会（2018 年）
11 月 1 日	逝去者記念礼拝	3 月 14 日	卒業礼拝

b. 聖アグネス寮

各行事や月2回の晩祷によって学生との交流を深めた。

4月2日	入寮式	2月3日	退寮式（2018年）
12月9日	クリスマス礼拝、祝会		

c. 附属幼稚園児のための礼拝

4月～9月は年長組、10月～3月は年中・年長組が月2回、聖アグネス礼拝堂においてチャペル礼拝を行いました。

6月8日	花の日礼拝	12月9日	クリスマス礼拝
10月25日	収穫感謝祭	12月11日	燭火礼拝・キャロリング
11月14日	幼児祝福式		

(イ) 2017年度のチャペルトーク（特別講話）

月日	担当教員	テーマ
5月31日	中川助教（保育科）	チームワークの大切さ
6月7日	門谷助教（子ども教育学部）	世界の幼児教育
10月25日	原助教（保育科）	「ダンボールの中でいのちを閉じた女の子」～ネグレクト死亡事件から学ぶ「祈る」
11月22日	花輪教授（子ども教育学部）	子どもが創る遊びの都市ミニ・ミュンヘンからみえること

イ. 国際言語文化

資格試験 TOEIC Listening & Reading Test への IP（団体特別受験制度）

回	実施日	受験者数	回	実施日	受験者数
第1回	8月5日	19名	第3回	12月23日	13名
第2回	10月21日	36名	第4回	2月5日	13名

(5) 設備関係整備事業

ア. 有栖館長屋門に茶室を新設

2018年3月、有栖館長屋門に伝統文化論の実習用茶室を新設し、裏千家の千玄室大宗匠より「成景庵」の扁額を頂きました。

イ. 更新及び補修作業

(ア) 京都

- a. 有栖館火災報知器及び自動通報装置更新工事、外灯LED化
- b. 室町館玄関ロータリーの楠の剪定作業、有栖館の枝垂れ桜の土壌改良等

(イ) 高槻

- a. 吸収冷温水機(空調)更新、電話交換機更新、4号館・7号館エレベーター更新
- d. 1号館2階トイレ改修、情報処理演習室A・Cのプロジェクター更新

イ. 点検及び検査

(ア) 明治館消防用設備保守点検（京都）

(イ) 消防設備法定点検（京都：2017/10/13、高槻：2018/3/27～29）

(エ) 受電設備法定点検（2017/12/28、京都・高槻・アグネス寮）

(6) 今後の課題・これからの取り組み

ア. 入学者の確保

2018年4月入学生は、国際観光学部の入学人数が入学定員を上回るなど改善が見られました。大学は卒業生112人に対して新入生161人と3年次編入生5人の計166人、短期大学部は卒業生56人に対して新入生68人で、在学生数は増加しました。しかし、収容定員の充足には至っておらず、引き続いて大きな課題です。

イ. 教育内容の充実

「コンパクト・グッドネス大学」として、学生一人ひとりに寄り添った学習指導、進路指導を行います。

大学祭の他、クリスマス・カンタータやイルミネーション等、学生が活動の主体となる行事を通じて、社会で役立つ力を育てます。

また、子ども教育学部では 2020 年度からの小学校の英語教育に対応するため、中学校教諭免許（英語）を取得できるカリキュラムの設置に向けて、文部科学省に申請しました。

ウ. 教育環境の整備

京都キャンパスでは室町館の耐震化工事を 2018 年度に行う他、トイレ改修など学生の学習生活環境を改善します。

高槻キャンパスでは外壁塗装や屋根補修など建物の維持管理の改善が課題です。

エ. 就職希望学生の就職率 100%継続

引き続き就職率 100%達成を目指します。国際観光学部では、航空・観光・金融関連業種、子ども教育学部・短期大学部保育科では、教員免許や保育士資格を生かし、公立の小学校、幼稚園、保育所への就職実績の向上を目指します。

(7) 資料編

ア. 卒業者数（2017 年 3 月 31 日現在）

学 部	学 科	卒業者数	
		9 月	3 月
国際観光学部	国際観光学科	14	60
子ども教育学部	子ども教育学科	0	52
短期大学部	保育科	0	56
合 計		14	168

イ. 免許・資格等取得者数（2018 年 3 月 31 日現在）

(ア) 子ども教育学部 子ども教育学科

幼稚園教諭一種免許状	小学校教諭一種免許状	保育士資格
49	40	47

(イ) 短期大学部 保育科

幼稚園教諭二種免許状	保育士資格
54	55

ウ. 授業料・入学金等（2017 年 4 月 1 日現在）

(ア) 平安女学院大学

入学金	(入学時のみ)	250,000円
授業料	(年額)	980,000円
教育充実費	(1年次年額)	170,000円
	(2年次以降年額)	280,000円
入学検定料		35,000円
	WEB出願	25,000円
	WEB出願システム利用	10,000円
休学在籍料	(1年休学)	60,000円
	(半年休学)	30,000円

(イ) 平安女学院大学短期大学部

入学金	(入学時のみ)	250,000円
授業料	(年額)	930,000円
教育充実費	(1年次年額)	170,000円
	(2年次以降年額)	340,000円
入学検定料		35,000円
	WEB出願	25,000円
	WEB出願システム利用	10,000円
休学在籍料	(1年休学)	60,000円
	(半年休学)	30,000円

3. 中学・高等学校

(1) 中高の現況と概要

国の教育改革に呼応し、今後5ヵ年を見据えた教育を推進する教育課題を明らかにするために、「学校評価」「授業アンケート」「教育力向上研修」などに取り組みました。その結果を踏まえ、2018年度は教科教育・特別活動の改善を重点方針として定めました。

入学者増員のため、入学センターによる「現状分析・募集対策」など共通理解を深める研修実施、地域交流の推進、小学生対象教室の開催拡大を始め、オープンスクール企画等の改善や、Web出願など新しい試みを行い、近年最高数の中高入学者を確保できました。今後は特に中学入学者を更に増加させる対策が課題になります。

進路保障においては、高校4コースとも生徒の希望大学・学部への進学が実現できました。とりわけ理系進学者が例年より増加した点や、幼児教育進学コース生をはじめ内部進学を希望する生徒が増えています。

いじめ防止や特別支援教育については、中等教育の重要課題であるため人権教育に力点を置いて進めていますが、初動の対応や保護者対応については、更に研鑽を積む必要があります。引き続き学内外の専門家との連携を強めていきます。

(2) 主な教育活動や行事

ア. 主な行事

- (ア) 中高合同体育祭（6月9日 島津アリーナ京都）
- (イ) 人権学習会（10月5日 エディホール）
- (ウ) 文化祭（St, Agnes' Festival、9月7日～9日）
- (エ) ビブリオバトル大会（中学校：10月12日、全校大会：10月21日）
- (オ) 第84回クリスマス・カンタータ（12月16日 エディホール）約632名の来場。クリスマス献金385,991円は国内外29団体へ寄付。
- (カ) 幼稚園・保育所見学観察実習（1～3年）、幼教フェスタ（10月7日）、卒業ピアノ演奏会（3年）、公開ピアノ実技試験（1・2年）〈高校幼児教育進学コース〉

イ. 修学旅行・研修旅行

- (ア) 高校2年立命館コース語学研修（Trinity Anglican School、オーストラリア7月10日～25日）
- (イ) 高校2年アグネス・ES・幼児教育コース修学旅行（ニュージーランド、10月30日～11月6日）
- (ウ) 中学3年修学旅行（台湾、10月30日～11月3日）

ウ. 中学校行事

- (ア) 第4回ライムタイムカルタ大会（2018年1月25日）、合唱コンクール（2018年2月22日）
- (イ) 農業実習（中1、年間4回実施）、職業体験学習（中2、10月25日～27日）
- (ウ) スマホ・ケータイ教室（中1）、薬物乱用防止教室（全校生）
- (エ) 校外見学学習…祇園祭・京都市動物園（中1）、Osaka English Village（中2）

(3) 国際交流・地域連携・ジュニア英語・体操教室

ア. 姉妹校交流（隔年で訪問・受入を実施）・学校間交流

耐震補強工事のため途切れていた姉妹校セント・ウルスラ・カレッジ（オーストラリア）からの本校訪問（4月11日～15日）が再開しました。2016年度より中学3年が修学旅行で訪問している崇高女子中学校（台湾）から、今年度初めて本校への訪問がありました（2018年1月5日）。

イ. 生徒・教員による地域連携・交流活動

2017 年度活動実績は年間 10 回、9 箇所。バトントワリング部・吹奏楽部・箏曲部・コーラス部・美術部・茶道部・東日本大震災被災地応援実行委員会の各部活動・団体が各種諸行事に参加しました。

ウ. ジュニア教室（英語・体操）

ジュニア教室は毎週土曜日に延べ 93 回（英語 29 回・機械体操 31 回・新体操 33 回）を開催、2017 年度体験教室参加延べ人数は英語 17 人、体操（機械・新体操）14 人、会員登録者数は英語 60 人・体操 66 人となりました（2018 年 3 月集計）。なお、当該教室受講者のうち 2018 年度入試における中学校への進学者は 9 人でした。

エ. 小学生女子対象「わくわくスクール」（夏休み・冬休み）

小学 4～6 年女子児童を対象としたバトントワリング・クッキング（パン作り）・スケッチ・クリスマスカード作り、など各種 7 つの教室を開催し、受講生は延べ 101 人で、参加者からも好評でした。本校教員等が講師となり、当日の教室運営には多くの部活動関係生徒が参加しました。

（４）進路について

ア. 立命館コース 58 名が立命館大学へ進学しました。

イ. E S コース卒業 2 期生 16 名のうち、国立大学 2 名、関関同立の各大学 3 名、四年制私立大学 10 名進学しました。

ウ. 高等学校から平安女学院大学への進学者は 17 名（国際観光学部 5 名、子ども教育学部 10 名、短期大学部保育科 2 名）でした。うち、幼児教育進学コースから平安女学院大学への進学者は 10 名（子ども教育学部 9 名、短期大学部保育科 1 名）でした。

（５）現状の課題・これからの取組み

ア. キリスト教学校の使命を明確にし、教育理念の理解を深め人間教育を発展させます。

イ. 中学校 55 名、高等学校 120 名の入学者獲得のために、「安心・安全・成長」をスローガンに授業改善を始め、教育内容の向上を図り、地域に支持される学校づくりを推進します。同時に学費問題の検討・奨学金制度の拡充を図ります。

ウ. 教科教育発展の各種研修を強め、実践交流を通じて切磋琢磨する教職員集団作りを進めます。

エ. 「危機管理マニュアル」の完成、スクールロイヤーの導入など、生徒の安全管理を徹底させる取り組みを進めます。

オ. クラブ活動の活性化と、教職員の長時間勤務の改善に向けた課題解決を図ります。

（６）資料編

ア. 卒業生数（2018 年 3 月 31 日）

高等学校コース	3 年	
	クラス数	人数
アグネス総合進学	2	40
E S	1	16
立命館	2	60
幼児教育進学	1	15
合 計	6	131

中学校コース	3 年	
	クラス数	人数
グローバル・ステップ	1	9
エキスパート・ステップ		6
立命館・ステップ	1	15
合 計	2	30

イ. 卒業生の進路一覧（2018 年 3 月 31 日現在）

高等学校 進 路		コース				計
		アグネス	E S	立命館	幼児教育	
進学	大 学	34	15	59	10	118
	短期大学	3	0	0	3	6
	専門学校	2	0	1	0	3
就 職		0	0	0	0	0
そ の 他		1	1	0	2	4
合 計		40	16	60	15	131

中 学 校 進 路		人数
進学	平安女学院高校	28
	他 高校	2
その他		0
合 計		30

（高等学校）主な大学の合格者数

大学	合格者	大学	合格者
平安女学院大学	20	京都女子大学	2
平安女学院大学短期大学部	3	京都学園大学	2
立命館大学	58	京都医療科学大学	2
関西大学	7	京都教育大学	1
関西学院大学	6	近畿大学	1
京都産業大学	4	明治大学	1
京都橘大学	4	奈良女子大学	1
同志社大学	2	同志社女子大学	1
立教大学	2	神戸女学院大学	1
龍谷大学	2	武庫川女子大学	1

ウ. 生徒納付金（2017 年 4 月 1 日現在）

種別	中学校	高等学校	備考
入 学 金	100,000 円	100,000 円	入学時
施 設 費	20,000 円	20,000 円	
授 業 料	580,000 円	580,000 円	1～3 年次年額
教育充実費	175,000 円	175,000 円	

4. 大学附属幼稚園

(1) 現状と概要

ア. 教育時間

曜 日	教育時間帯	時 間
月・火・木・金	9:00～14:20	5時間 20分
水	9:00～12:20	3時間 20分

イ. 教育内容

幼稚園教育要領に則り、本学の建学の精神であるキリスト教を基本として、幼児の健やかな成長を願い、遊びを通して、幼児期にふさわしい体験が豊富にできるように、また生活を営むことができるように指導を展開しています。

ウ. 行事

- (ア) アグネス夏祭り…2017年8月27日に幼稚園にて開催しました。
- (イ) 運動会…10月14日大学グラウンドにて行ないました。
- (ウ) 交通安全教室…高槻警察の方に来園いただき、実施しました。
- (ウ) クリスマス礼拝…12月9日5歳児がページェントを行い、11日にはサンタクロースを招いて祝会、同日夕方に燭火礼拝及びキャロリングを行いました。

(2) 地域交流と子育て支援

ア. こいのぼりフェスタ 1000…こいのぼりフェスタ 1000 推進協議会主催の催し物に、5歳児が製作した「こいのぼり」を出展しました。

イ. ミス・ブール記念ホームの慰問…花の日の一環として、5歳児が特別養護老人ホームに慰問に出かけ、歌やじゃんけん遊びなど一緒に楽しみました。

ウ. 高槻アート博覧会…高槻アート博覧会実行委員会主催の巨大絵画アーケード展に出展し、『わくわく賞』を受賞しました。

エ. 園庭開放…毎月第2・4火曜日に園庭を開放し、年間参加者は424名でした。

オ. 未就園児親子登園クラス（てんしぐみ）…月曜日と金曜日の2コース実施し、合計34組の親子が、年間38回ずつ登園しました。

開室日	月曜日・金曜日（通常保育期間中）
時間	10:00～11:30
場所	未就園児保育室
料金	入会金3,000円、月額2,000円

カ. 中学生職業体験受け入れ…地域の中学生を12名受け入れました。

(3) 大学との交流

ア. 実習生の受け入れ

- (ア) 子ども教育学科・短期大学部保育科から12名の実習生を受け入れました。
- (イ) 平安女学院高校幼児教育進学コースから3名の実習生を受け入れました。

イ. 学園祭への参加

オープニングで「Oh! スージー」という体操を、希望者約50名で踊りました。

ウ. クリスマスカンタータへの参加

5歳児が聖歌隊の衣装を着て、聖歌を2曲歌いました。

(4) 園外保育

ア. 遠足…5月23日に服部緑地公園、11月9日に萩谷公園に出かけました。

イ. キャンプ…7月14日～15日、5歳児が宇治YMCAリトリートセンターで一泊保育を行ないました。

ウ. 雪遊び…2018年2月8日、5歳児が六甲山スノーパークに雪遊びに出かけました。

(5) 預かり保育

8時から19時まで開園。月極利用者は前年度より7名増加で11名となりました。

ア. 2017年度利用状況…年間2,794人が利用されました。

月	保育日数	人数	月	保育日数	人数	月	保育日数	人数
4月	20日	134人	8月	17日	161人	12月	19日	271人
5月	20日	178人	9月	20日	259人	1月	18日	197人
6月	21日	280人	10月	21日	260人	2月	19日	235人
7月	19日	247人	11月	20日	243人	3月	21日	329人

イ. 預かり保育時間

曜日	月～金曜日（平日）	長期休暇中（夏・冬・春休みの平日）
時間	8：00～9：00、保育終了～19：00	8：00～19：00

(6) 今後の課題・これから取り組む事業の概要

ア. 2019年度の幼保連携型認定こども園開園に向けて、教育・保育・子育て支援の場として十分な役割を果たすことができるよう、万全な準備を行います。

イ. 園児が安全に心地よく過ごすことができるように、机や椅子等の整備を行います。

(7) 資料編

ア. 保育料

科 目	金額（月額）	金額（年額）
入園料	—	100,000円
保育料	21,000円	252,000円
教育充実費	5,000円	60,000円
計	26,000円	412,000円

イ. 預かり保育料

通常保育			長期休暇期間	
時間	料金		時間	料金
	午後保育	午前保育		
8：00～9：00	300	300	8：00～9：00	300
保育終了後～16：00	600	1,000	9：00～12：00	800
～17：00	800	1,200	12：00～16：00	1,000
～18：00	1,100	1,500	～17：00	1,200
～19：00	1,400	1,800	～18：00	1,500
月極め	15,000		～19：00	1,800
			8月のみ月極め	20,000

V 財務の概要

1. 2017 年度の決算概要

2017 年は、予定していた大学の京都キャンパス耐震補強工事が 2018 年度にずれ込みましたものの、2018 年 1 月の補正予算に補助金申請し、2018 年 3 月には補助金交付決定をいただきました。

また、2019 年 4 月開園を目途に、幼稚園の認定こども園化への補助金申請を 2018 年 1 月に行いました。2017 年度は、学生生徒数の増加もあり、将来への飛躍に向かっての準備の期となりました。

- (1) 2017 年度決算は、「基本金組入前当年度収支差額」で +6,535 千円の黒字となし、これで 5 年連続での黒字計上となりました。

収入の 69% を占める学納金収入では、前年度比 33 百万円上昇し、7 年振りの高水準となりました。

反面、支出面では教育研究費 46 百万円、教員人件費 21 百万円の上昇があり、管理費で △24 百万円削減したものの、教育活動収支では、△9 百万円の赤字となりました。

※2016 年度は、耐震工事の影響で、教育研究費が 135 百万円上振れし、その影響を排除した教育活動収支差額は +10 百万円となっております。

- (2) 資金収支は、収入総額 2,840 百万円にたいし、支出総額は 3,014 百万円で、174 百万円の支出超過となりました。

これは、借入返済支出 820 百万円に対し、借入収入が 300 百万円と、2018 年度での大学耐震改修工事費の借入に備えるため、可能な限り借入金を抑制したことによるものです。

2. 2017 年度の決算内容

(表 1) は「事業活動収支計算書」、(表 2) は「資金収支計算書」です。いずれも科目は大科目で表示しています。それぞれの計算書を企業会計に当てはめると、「事業活動収支計算書」は「損益計算書」、「資金収支計算書」は「キャッシュフロー計算書」に該当します。

(1) 「事業活動収支計算書」 (表 1)

ア. 教育活動収支 … 本業の教育活動の収支状況を表し、9 百万円の赤字です。

(ア) 収入の部の合計は、1,805 百万円です。

- a. 「学生生徒等納付金」は 1,268 百万円で、大学、短期大学部、高等学校、中学校、幼稚園の学納金の合計です。
- b. 「手数料」は 16 百万円で、主たる収入は入学検定料です。
- c. 「寄付金」は 10 百万円です。
- d. 「経常費等補助金」は 425 百万円で、「施設設備補助金」以外の補助金です。
- e. 「付随事業収入」は 39 百万円で、京都学生用マンションや高槻アグネス寮費等です。
- f. 「雑収入」は 47 百万円で、主たる収入は退職給与引当金戻入額です。なお、「資金収支計算書」(表 2) の雑収入には、退職給与引当金戻入額が算入されないため、差異があります。

(イ) 支出の部の合計は、1,814 百万円です。

- a. 「人件費」は 1,025 百万円です。なお、「資金収支計算書」(表 2) の人件費支出には、退職金支出を算入するため金額に差異があります。
 - b. 「教育研究経費」は 585 百万円です。学生や教職員の教育研究活動に要した経費です。
 - c. 「管理経費」は 204 百万円です。法人業務や学生生徒募集対策等に要した経費です。
- なお、資金収支計算書(表 2) の教育研究経費支出および管理経費支出には、減価償却額が算入されないため差異があります。

イ. 教育活動外収支 … 財務活動による収支状況を表し、21 百万円の赤字です。

「借入金等利息」は、21 百万円で、市中金融機関の借入金利息と学校債利息です。

ウ. 経常収支差額 … 経常的な収支状況を表し、30 百万円の赤字です。

「教育活動収支差額 ア」に「教育活動外収支差額 イ」を加算した額です。

エ. 特別収支差額 … 臨時的な収支状況を表し、36 百万円の黒字です。

主たる収入は、「現物寄付」37 百万円です。支出は、「資産処分差額」の図書廃棄 1 百万円です。

オ. 基本金組入前当年度収支差額（旧：帰属収支差額）

… 毎年度の収支状況を表し、6 百万円の黒字です。

「ウ. 経常収支差額」に「エ. 特別収支差額」を加算した額です。

カ. 基本金組入 … 学校法人を維持するために必要な資産を継続的に保持するための組入額で、本年度の組入額合計は、321 百万円となりました。

「第 1 号基本金」は、建物、構築物、教育研究用機器備品、管理用機器備品、図書の当年度組入高および過年度未組入高の当期組入高の合計で、321 百万円を組入れました。

（２）「資金収支計算書」（表 2）

ア. 収入の部

（ア）「借入金等収入」は 690 百万円で、市中金融機関からの長期借入金および学校債です。

（イ）「前受金収入」は 244 百万円で、翌年度分の学生生徒等の授業料等です。

（ウ）「その他の収入」は 391 百万円です。

大学・短期大学部では、競争的研究資金による諸事業に意欲的に取組んだ結果、日本学術振興会の「基盤研究」2 件が新規に採択されました。結果、当年度の採択数は、継続している研究も含め「基盤研究」3 件と「若手研究」3 件の 6 件です。これに加えて分担者として、6 件の「基盤研究」で各研究課題に取り組んでいます。

イ. 支出の部

（ア）「借入金等返済支出」は 1,152 百万円です。

（イ）「施設関係支出」は 153 百万円で、主な内訳は次のとおりです。

高槻キャンパスでの集中管理型空調およびエレベーター 2 台の更新 他

（ウ）「設備関係支出」は 11 百万円で、主な内訳は次のとおりです。

電話交換機、教育用プロジェクター、楽器（テナーサクソフォン等） 他

2017年度 事業活動収支計算書 (表1)

2017年4月1日から2018年3月31日まで

(単位 千円)

		科 目	予 算	決 算	差 異	2016年度 決算	2016年度決算 との差異
			①	②	①－②	③	②－③
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	1,268,324	1,267,556	769	1,234,954	32,602
		手数料	15,245	16,460	△ 1,215	16,427	33
		寄付金	13,800	10,400	3,400	19,809	△ 9,409
		経常費等補助金	421,845	425,473	△ 3,628	415,903	9,570
		国庫補助金	122,000	123,420	△ 1,420	113,569	9,851
		地方公共団体補助金	299,645	301,598	△ 1,953	301,870	△ 272
		その他補助金	200	455	△ 255	464	△ 9
		付随事業収入	40,000	38,942	1,058	41,114	△ 2,172
		雑収入	45,425	46,598	△ 1,173	46,395	203
		教育活動収入計	1,804,639	1,805,429	△ 790	1,774,602	30,827
	支出の部	人件費	1,025,325	1,024,864	461	997,023	27,842
		教員人件費	691,150	692,308	△ 1,158	671,135	21,173
		職員人件費	332,455	331,972	483	325,083	6,889
		役員報酬	720	585	135	705	△ 120
		退職金	1,000	0	1,000	100	△ 100
		教育研究経費	583,567	585,124	△ 1,557	674,208	△ 89,084
		(うち、減価償却額)	(146,000)	(146,379)	(△ 379)	(134,865)	(11,514)
		管理経費	195,318	203,917	△ 8,599	228,151	△ 24,234
		(うち、減価償却額)	(16,500)	(15,185)	(1,315)	(14,580)	(605)
		徴収不能額等	1,000	628	372	0	628
		教育活動支出計	1,805,210	1,814,533	△ 9,323	1,899,382	△ 84,849
教育活動収支差額		△ 571	△ 9,104	8,533	△ 124,780	115,676	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金収入	600	227	373	834	△ 607
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
		教育活動外収入計	600	227	373	834	△ 607
	支出の部	借入金等利息	21,300	21,245	55	22,423	△ 1,178
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	21,300	21,245	55	22,423	△ 1,178
教育活動外収支差額		△ 20,700	△ 21,018	318	△ 21,589	571	
経常収支差額 (A)		△ 21,271	△ 30,122	8,851	△ 146,369	116,247	
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	0	0	0	0
		その他の特別収入	22,600	38,215	△ 15,615	375,249	△ 337,034
		施設設備寄付金	0	279	△ 279	393	△ 114
		現物寄付	22,600	37,808	△ 15,208	3,775	34,033
		施設設備補助金	0	0	0	371,082	△ 371,082
		過年度修正額	0	129	△ 129	0	129
		特別収入計	22,600	38,215	△ 15,615	375,249	△ 337,034
	支出の部	資産処分差額	1,000	1,411	△ 411	10,349	△ 8,938
		その他の特別支出	0	148	△ 148	0	148
		特別支出計	1,000	1,558	△ 558	10,349	△ 8,790
特別収支差額 (B)		21,600	36,657	△ 15,057	364,900	△ 328,244	
【予備費】 (C)		0		0			
基本金組入前当年度収支差額 (A+B-C)		329	6,535	△ 6,206	218,531	△ 211,997	
基本金組入額合計		△ 450,000	△ 321,407	△ 128,593	△ 488,410	167,003	
当年度収支差額		△ 449,671	△ 314,873	△ 134,798	△ 269,879	△ 44,994	
前年度繰越収支差額		△ 6,270,737	△ 6,270,737	0	△ 6,123,858	△ 146,879	
基本金取崩額		0	0	0	123,000	△ 123,000	
翌年度繰越収支差額		△ 6,720,408	△ 6,585,610	△ 134,798	△ 6,270,737	△ 314,873	

(参考)

事業活動収入計	1,827,839	1,843,871	△ 16,032	2,150,685	△ 306,814
事業活動支出計	1,827,510	1,837,337	△ 9,827	1,932,154	△ 94,817

経常収入計	1,805,239	1,805,656	△ 417	1,775,436	30,220
経常支出計	1,826,510	1,835,778	△ 9,268	1,921,805	△ 86,027

2017年度 資金収支計算書 (表2)

2017年4月1日から2018年3月31日まで

(単位 千円)

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	予 算 ①	決 算 ②	差 異 ①－②	科 目	予 算 ①	決 算 ②	差 異 ①－②
学生生徒等納付金収入	1,268,324	1,267,556	769	人 件 費 支 出	1,030,325	1,030,192	133
手 数 料 収 入	15,245	16,460	△ 1,215	教 育 研 究 経 費 支 出	437,567	438,733	△ 1,166
寄 付 金 収 入	13,000	10,666	2,334	管 理 経 費 支 出	178,818	188,705	△ 9,887
補 助 金 収 入	421,845	425,473	△ 3,628	借 入 金 等 利 息 支 出	21,300	21,245	55
資 産 売 却 収 入	0	0	0	借 入 金 等 返 済 支 出	1,150,800	1,151,600	△ 800
付随事業・収益事業収入	40,000	38,942	1,058	施 設 関 係 支 出	166,433	153,074	13,359
受取利息・配当金収入	600	227	373	設 備 関 係 支 出	14,643	10,934	3,709
雑 収 入	5,425	16,689	△ 11,264	資 産 運 用 支 出	900	1,460	△ 560
借 入 金 等 収 入	665,000	689,800	△ 24,800	そ の 他 の 支 出	50,594	57,393	△ 6,799
前 受 金 収 入	245,201	243,536	1,665	予 備 費	0	—	0
そ の 他 の 収 入	447,916	390,814	57,102	資 金 支 出 調 整 勘 定	△ 36,970	△ 39,442	2,472
資 金 収 入 調 整 勘 定	△ 269,478	△ 260,530	△ 8,948	翌年度繰越支払資金	713,923	700,996	12,927
前年度繰越支払資金	875,255	875,255	△ 0				
収 入 の 部 合 計	3,728,333	3,714,888	13,445	支 出 の 部 合 計	3,728,333	3,714,888	13,445

(3) 「貸借対照表」(表3)

ア. 資産の部

固定資産と流動資産で前年度末に比べ508百万円減少し、8,224百万円となりました。

減少要因は、補助金を計上していた未収入金365百万円、借入圧縮のために現預金174百万円減少等によるものです。

イ. 負債の部

前年度末に比べ515百万円減少し、2,682百万円となりました。減少要因は、長短借入金520百万円減少によるものです。

ウ. 純資産の部(基本金+繰越収支差額)

前年度末に比べ7百万円増加し、5,543百万円となりました。

2017年度 貸借対照表 (表3)

2018年3月31日

(単位 千円)

資 産 の 部				負 債 及 び 純 資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減	科 目	本年度末	前年度末	増 減
資産				負債	2,681,909	3,196,540	△ 514,631
固定資産	7,497,707	7,461,083	36,623	固定負債	2,263,508	2,314,273	△ 50,766
有形固定資産	7,326,503	7,287,663	38,840	長期借入金	1,130,000	1,515,000	△ 385,000
土地	3,409,257	3,409,257	0	学校債	859,700	490,100	369,600
建物	2,993,427	2,986,368	7,059	退職給与引当金	273,808	309,173	△ 35,366
その他の有形固定資産	923,819	892,038	31,781	流動負債	418,401	882,266	△ 463,865
特定資産	120,000	120,000	0	短期借入金	70,000	205,000	△ 135,000
その他の固定資産	51,204	53,420	△ 2,216	1年以内償還予定学校債	19,400	330,800	△ 311,400
流動資産	727,198	1,271,918	△ 544,720	前受金	243,536	239,478	4,057
現金預金	700,996	875,255	△ 174,260	その他の流動負債	85,465	106,988	△ 21,523
未収入金	21,051	386,416	△ 365,365	純資産	5,542,996	5,536,461	6,535
その他の流動資産	5,151	10,246	△ 5,095	基本金	12,128,606	11,807,198	321,407
				第1号基本金	11,995,606	11,674,198	321,407
				第4号基本金	133,000	133,000	0
				繰越収支差額	△ 6,585,610	△ 6,270,737	△ 314,873
合 計	8,224,905	8,733,001	△ 508,096	合 計	8,224,905	8,733,001	△ 508,096

(4) 「財産目録」(表4)

2017年度の「正味財産」(「資産総額」－「負債総額」)は、5,543百万円となり、前年度末の正味財産5,536百万円に対し、7百万円増加しました。

財 産 目 録 (表4)

科 目		2018年3月31日	
Ⅰ. 資 産 額			
1. 基本財産			
土地	800,694.33㎡	3,409,257千円	
建物	44,487.73㎡	2,993,427千円	
その他の基本財産		923,819千円	
基本財産 計		7,326,503千円	
2. 運用財産			
現金及び預金		700,996千円	
引当特定預金		120,000千円	
未収入金		21,051千円	
その他の運用財産		56,355千円	
運用財産 計		898,402千円	
資 産 総 額		8,224,905千円	
Ⅱ. 負 債 額			
1. 固定負債			
長期借入金		1,130,000千円	
学校債		859,700千円	
退職給与引当金		273,808千円	
固定負債 計		2,263,508千円	
2. 流動負債			
短期借入金		70,000千円	
1年以内償還予定学校債		19,400千円	
前受金		243,536千円	
その他の流動負債		85,465千円	
流動負債 計		418,401千円	
負 債 総 額		2,681,909千円	
Ⅲ. 正 味 財 産 （資産総額－負債総額）		5,542,996千円	

(5) 監事の監査報告書

監 査 報 告 書	
平成30年5月21日	
学校法人 平安女学院	
理 事 会 御 中	
(評 議 員 会 御 中)	
監 事 下 元 光 明  監 事 龍 統 一 	
私たちは、私立学校法第37条第3項に基づく監査報告を行うため、 学校法人平安女学院の平成29年度(平成29年4月1日から平成30年 3月31日まで)の、学校法人の業務又は財産の状況について監査を行っ た結果、学校法人の業務又は財産に関し、不正の行為又は法令若しくは 寄附行為に違反する重大な事実のないことを認めます。	
以上	

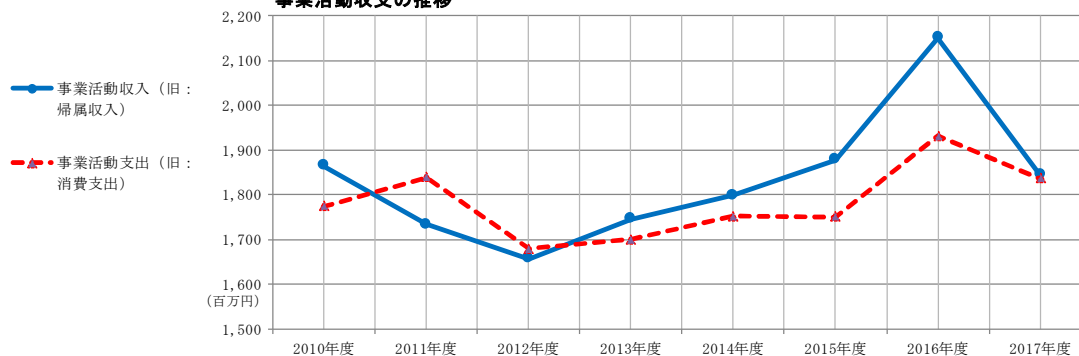
3. 財務状況の推移

(1) 基本金組入前当年度収支差額（旧：帰属収支差額）の推移

(単位：百万円)

科 目	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	前年比
事業活動収入（旧：帰属収入）									
学 納 金	1,263	1,163	1,100	1,140	1,187	1,225	1,235	1,268	33
補 助 金	485	425	406	441	483	453	787	425	△ 362
寄 付 金 (内、現物寄付)	32 (5)	22 (3)	46 (25)	22 (8)	17 (1)	90 (76)	24 (6)	48 (38)	24 (32)
事 業 収 入	42	41	39	42	46	42	41	39	△ 2
そ の 他	44	83	67	101	66	69	64	64	0
計	1,866	1,734	1,658	1,746	1,799	1,879	2,151	1,844	△ 307
事業活動支出（旧：消費支出）									
人 件 費	1,091	1,030	964	952	992	1,008	997	1,025	28
教 育 研 究 費	413	453	455	513	527	519	674	585	△ 89
管 理 経 費	232	223	226	214	212	199	228	204	△ 24
借 入 金 等 利 息	36	34	31	19	19	23	22	21	△ 1
そ の 他	2	99	4	3	3	2	11	2	△ 9
計 (内、減価償却額)	1,774 (146)	1,839 (137)	1,680 (135)	1,701 (136)	1,753 (139)	1,751 (139)	1,932 (149)	1,837 (162)	△ 95 (13)
基本金組入前当年度収支差額 (旧：帰属収支差額)	92	△ 105	△ 22	45	46	128	219	7	△ 212

事業活動収支の推移



(2) 主要財務比率の推移

(評価 = △：高い方がよい ▼：低い方がよい)

比 率	評 価	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
人件費依存率 ※1	▼	86.4%	88.6%	87.6%	83.5%	83.6%	82.2%	80.7%	80.8%
人件費比率 ※2	▼	58.5%	59.4%	58.1%	54.5%	55.2%	55.9%	56.2%	56.8%
教育研究費比率 ※2	△	22.1%	26.1%	27.4%	29.4%	29.3%	28.8%	38.0%	32.4%
管理経費比率 ※2	▼	12.4%	12.8%	13.6%	12.2%	11.8%	11.0%	12.9%	11.3%
事業活動収支差額比率 (帰属収支差額比率) ※3	△	4.9%	-6.1%	-1.3%	2.6%	2.6%	6.8%	10.2%	0.4%
流動比率	△	193.8%	151.2%	57.9%	107.5%	119.7%	171.5%	144.2%	173.8%
基本金比率 ※4	△	89.4%	89.9%	90.4%	93.9%	94.7%	96.1%	93.5%	94.7%

※1 分母は、学生生徒納付金です。

※2 2015年度より、新算式による比率です。(帰属収入→経常収入)

※3 2015年度より名称変更。

※4 分母は、基本金要組入高です

4. 学校法人会計の概要と用語説明

(1) 学校法人会計基準の概要

学校法人会計基準は、平成 25 年 4 月 22 日文部科学省令により、学校法人の作成する計算書類等の内容がよりわかりやすく、かつ的確に財政及び経営の状況を把握できるものに改正されました。

2015 年度以降の計算書類は、改正後の「学校法人会計基準」が適用されます。主な改正点は次の通りです。

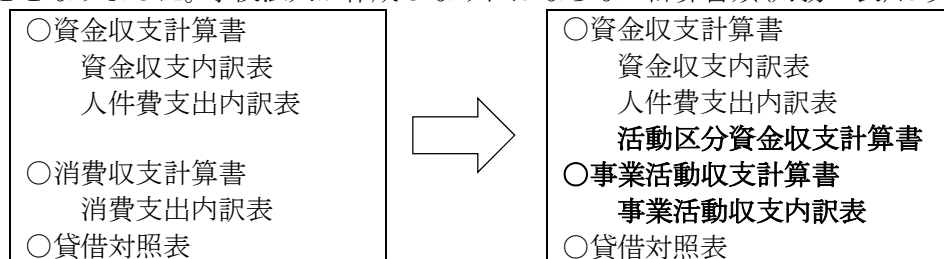
ア.「資金収支計算書」では、活動区分ごとの資金の流れが分かる「活動区分資金収支計算書」を新たに作成することになりました。

イ.従前の「消費収支計算書」は「事業活動収支計算書」に名称変更されました。

経常的収支（本業の収支を表す「教育活動収支」＋財務活動の収支を表す「教育活動外収支」）と、臨時的収支（一時的、臨時的な収支を表す「特別収支」）に区分して、それらの収支状況が把握できるようになりました。

また、「特別収支」の後に毎年度の収支を表す「基本金組入前当年度収支差額」が新設されました。これは従前の「帰属収支差額」で計算書に表示することになりました。

ウ.「貸借対照表」では、保有する資産の調達源泉（他人資本・自己資本）を明確にするため、旧基準の貸借対照表における「基本金の部」と「消費収支差額の部」を合わせて「純資産の部」（自己資本）とし、その中で、「基本金」と「繰越収支差額」に分けて内訳を表示することとなりました。学校法人が作成しなければならない計算書類(財務 3 表)は次の通りです。



(2) 計算書類（決算書）

国または地方公共団体から経常費補助金の交付を受ける学校法人は、「私立学校振興助成法」の定めにより「学校法人会計基準」に従って計算書類を作成し、公認会計士または監査法人による監査を受けて所轄庁に届け出ることが義務づけられています。

「学校法人会計基準」に定められている計算書類は、「資金収支計算書」、「事業活動収支計算書」、「貸借対照表」の 3 表です。また、「私立学校法」により、これらの他に「財産目録」、「事業報告書」を作成することになっています。

ア. 資金収支計算書

(ア)「資金収支計算書」は、学校法人の当該年度（4 月 1 日～翌年 3 月 31 日）の諸活動に対応する、全ての収入と支出の内容ならびに支払資金（現金預金）の収入・支出の顛末を明らかにするものです。

(イ)内訳として「資金収支内訳表」（学校法人、大学各学部別および大学計、短期大学部、高校、中学、幼稚園、総額の組織別資金収支を記載）、「人件費支出内訳表」（人件費について組織別に記載）の他、「活動区分資金収支計算書」を作成しています。

(ウ)「活動区分資金収支計算書」では、「教育活動」（キャッシュベースでの教育活動の収支状況）、「施設整備等活動」（当年度に施設設備の購入があったか、その財源が何だったか）、「その他の活動」（借入金の収支、資金運用の状況等、主に財務活動）ごとに資金の流れを把握することができます。

イ. 事業活動収支計算書

- (ア) 「事業活動収支計算書」は、学校法人の当該年度の収支状況を区分別に表す重要な計算書類です。収入と支出の内容を区分別に明らかにして、財務の健全性を表します。
- (イ) 収入と支出について、本業での収支を「教育活動収支」・その結果を「教育活動収支差額」、財務活動での収支を「教育活動外収支」・その結果を「教育活動外収支差額」、この2つの合計を経常的な収支として「経常収支差額」として記載します。
- (ウ) この後に資産売却や処分等の臨時的な収支を「特別収支」・その結果を「特別収支差額」、以上全ての収入と支出の差額を「基本金組入前当年度収支差額」（従来の「帰属収支差額」に相当）として記載します。さらに、「基本金組入額合計」、「当年度収支差額」、「前年度繰越収支差額」、「翌年度繰越収支差額」と長期の収支バランスを示す項目が続きます。
- (エ) 脚注には、新たに「事業活動収入計」（教育活動収入＋教育活動外収入＋特別収入）、「事業活動支出計」（教育活動支出＋教育活動外支出＋特別支出）を記載します。
- (オ) 「事業活動収支計算書」は企業会計の「損益計算書」に類似し、営業利益、営業外損益、経常利益、特別損益、当期税引前利益に該当します。
- (カ) 各収支の内容は次の通りです。

区 分	収 支	科 目
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金、手数料、寄付金、経常費等補助金、付随事業収入、雑収入
	支出	人件費、教育研究経費、管理経費、徴収不能額等
教育活動外収支	収入	受取利息・配当金、その他
	支出	借入金等支払利息、その他
特別収支	収入	資産売却差額、その他（施設設備寄付金、現物寄付、施設設備補助金、過年度修正額）
	支出	資産処分差額、その他（過年度修正額）

ウ. 貸借対照表

- (ア) 「貸借対照表」は、年度末における財政状態を表したものです。学校法人の資産に対する負債（他人資本）と純資産（基本金＋繰越収支差額〈翌年度繰越収支差額〉）（自己資本）の額を明らかにします。
- (イ) 資産は、「固定資産」と「流動資産」に分かれ、更に「固定資産」は「有形固定資産」の次に「特定資産」（第2号基本金引当特定資産等）が新たに設けられ、「その他の固定資産」と合わせて3つの中科目となります。
- (ウ) 基本金は、学校法人がその諸活動に必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、その事業収入の内から組入れた金額です。

第1号基本金	取得した固定資産の価額
第2号基本金	将来取得する固定資産に充てるために、事前に計画的、段階的に積み立てる金銭その他の資産の価額
第3号基本金	奨学基金等として継続的に保持し、かつ運用する金銭その他資産の価額
第4号基本金	恒常的に保有すべき資金

エ. 財産目録

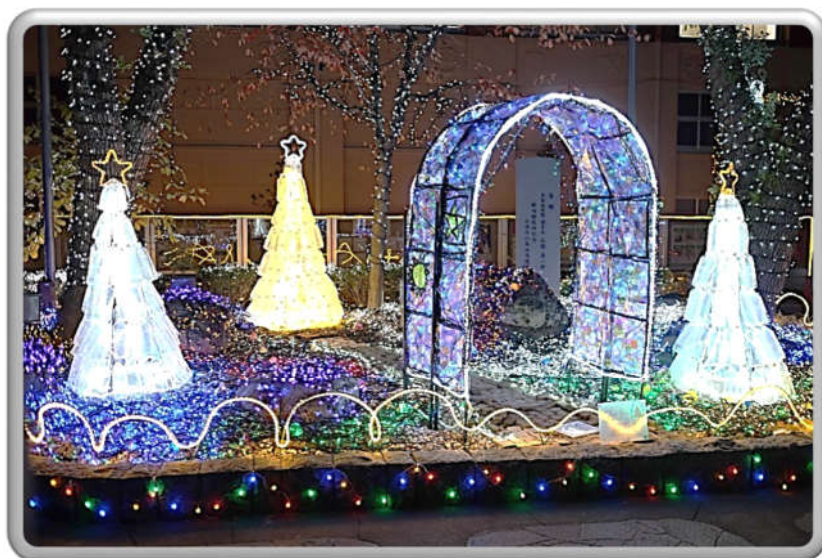
貸借対照表の資産や負債について、具体的内容を表したものです。学校法人が所有する土地や建物の面積、図書の冊数などを知ることができます。また、財産目録は、「基本財産」（私立学校に必要な施設および設備またはこれらに要する資金）と「運用財産」（私立学校の経営に必要な財産）に区分して記載することになっています

2017年度事業報告書

発 行 日 : 2018年5月29日

発 行 者 : 学校法人 平安女学院

発 行 所 : 学校法人平安女学院 法人本部事務局
京都市上京区下立売通烏丸西入五丁目町 172-2
電話 075 (414) 8155
<http://www.heian.ac.jp>



2017 年アグネス イルミネーション
「祈り～光がつなぐ人の輪～」